

事後報告書

総合文化研究科 広域科学専攻 生命環境科学系

加藤英明研究室 修士2年

松井俊貴

1/3~1/6 の期間で開催された GPCR workshop 2023 に参加してきました。GPCR workshop は2年に一度ほど開催される学会で、世界中の GPCR (G タンパク質共役型受容体) 研究者が集まり、トークセッションやポスターセッション、バンケットなどを通して交流や情報交換、議論を行う場です。特にこの学会は、2012年にノーベル化学賞を受賞した Brian Kobilka の設立した Confometrx Research Foundation 主催であり、スタンフォード大学の Brian Kobilka、カリフォルニア大学サンフランシスコ校の Mark von Zastrow、カリフォルニア大学サンディエゴ校の Roger K Sunahara など、GPCR 研究の第一人者に直接会い、議論を深めることのできる貴重な機会でした。

GPCR workshop 2023 はハワイのコナで行われました。渡航初日から行われたトークセッションのトップバッターは東北大学の井上飛鳥先生で、内容の面白さとそれを伝える表現力に身がひきしまる思いがしました。

また、ポスターセッションは実際に自分の研究を他の研究者に紹介する良い機会でした。実際にポスターを紹介してみると、聞いてくれた研究者の興味というのが本当にさまざまで、自分の研究に生かしたいという熱意が感じられました。それとともに自分の英語の拙さでなかなか理解に苦しむ中辛抱強く聞いてくれた研究者の方々に非常に感謝したいと感じました。

GPCR workshop ではインタラクティブセッションという未解決な問題をその場のいろんな研究者で議論しあおうという場も設けられました。まさにこれぞ学問の最先端といった、いろんなバックグラウンドの研究者のさまざまな観点からの意見が飛び交う非常に知的な交流の場でした。

総じて刺激的な場でした。発表内容の守秘義務の都合上ポスター会場の写真は添付できませんが、美味しかったロコモコの写真を添えておきます。

